

ふりがな

おおた みゆき

氏名

太田 美幸

1. 学歴

- 1997年3月 一橋大学社会学部卒業
- 2001年4月 一橋大学大学院社会学研究科修士課程入学
- 2003年3月 同課程修了
- 2003年4月 一橋大学大学院社会学研究科博士課程進学
- 2006年12月 同課程単位修得退学
- 2007年3月 一橋大学大学院社会学研究科にて論文博士（社会学）

2. 職歴・研究歴

- 1997年4月 安田火災海上保険株式会社（2001年3月まで）
- 2005年4月 日本学術振興会特別研究員（DC2）（2006年12月まで）
- 2005年9月 リンシェーピン大学行動科学研究所客員研究員（2006年8月まで）
- 2007年1月 鳥取大学生涯教育総合センター助手
- 2007年4月 鳥取大学生涯教育総合センター助教
- 2008年4月 鳥取大学生涯教育総合センター講師
- 2010年4月 立教大学文学部准教授
- 2013年4月 一橋大学大学院社会学研究科准教授
- 2017年4月 一橋大学大学院社会学研究科教授
- 2020年9月 リンシェーピン大学行動科学研究所客員研究員（2021年8月まで）

3. 学内教育活動

（A）主な担当講義名

（a）学部学生向け

教育の歴史、比較・国際教育学

（b）大学院

グローバル化と教育、多文化社会の人間形成、地球社会博士特論、教育の社会史

（B）ゼミナール

学部後期、大学院

4. 主な研究テーマ

比較教育、成人教育、ノンフォーマル教育

5. 研究活動

（a）著書・編著

「スウェーデンにはなぜ「待機児童」がないのか」, 「ジェンダー平等と手工芸教育」, 北欧教育研究会編『北

- 『欧の教育最前線—市民社会をつくる子育てと学び』明石書店, 2021, pp.67-70, pp.99-103.
- “Introduction: dynamics and analysis from non-formal education” (共著), “Chap 8 Pedagogy for gender and sexual diversity”, “Chap 10 Educational settings for the locality”, Hideki Maruyama ed., *Cross-Bordering Dynamics in Education and Lifelong Learning: A Perspective from Non-Formal Education*, Routledge, 2019, pp.1-13, pp.126-139, pp.155-168.
- 『スウェーデン・デザインと福祉国家—住まいと人づくりの文化史』新評論, 2018.
- 「第 8 章 風景と道具の人間形成作用—スウェーデンの近代化過程におけるミュージアム・ペダゴジー」, 青木利夫・柿内真紀・関啓子編『生活世界に織り込まれた発達文化—人間形成の全体史への道』東信堂, 2015, pp.152-173.
- 「第 14 章 スウェーデンにおけるセツルメント運動の歴史と現在」, 松田武雄編『社会教育福祉の諸相と課題—欧米とアジアの比較研究』大学教育出版, 2015, pp.238-255.
- 「第 4 部第 4 章 生涯学習」, 木村元編『教育学 (第 7 版)』医学書院, 2015, pp.233-244.
- 丸山英樹・太田美幸編『ノンフォーマル教育の可能性—リアルな生活に根ざす教育へ』新評論, 2013.
- 『生涯学習社会のポリテクス—スウェーデン成人教育の歴史と構造』新評論, 2011.
- 関啓子・太田美幸編『ヨーロッパ近代教育の葛藤—地球社会が求める教育システムへ』東信堂, 2009.

(b) 論文

- 『『国民の家』の女性と家事—スウェーデンにおける福祉国家形成と消費者啓発』日本家政学会『日本家政学会誌』第 40 巻第 4 号, 2019, pp.222-228.
- 「性の多様性をめぐる教育政策研究の課題」『日本教育政策学会年報』通巻 24 号, 2017, pp.66-74.
- (共著)「公的に保障されるべき教育とは何か—ノンフォーマル教育の国際比較から」一橋大学〈教育と社会〉研究会『〈教育と社会〉研究』通巻 26 号, 2016, pp.63-76.
- 「社会変動とノンフォーマル教育—欧州とアジアの事例」『科研費基盤研究(B)海外学術「学習者のウェルビーイングに資するノンフォーマル教育の国際比較研究」報告書』2016, p.65-74.
- (共著)「ノンフォーマル教育研究の射程」『科研費基盤研究(B)海外学術「学習者のウェルビーイングに資するノンフォーマル教育の国際比較研究」報告書』2016, pp.7-20.
- 「住環境の文化史から〈近代の人づくり〉を読み解く」一橋大学〈教育と社会〉研究会『〈教育と社会〉研究』通巻 25 号, 2015, pp.19-30.
- 「スウェーデンモデルにおけるノンフォーマル成人教育の機能—成人教育の制度化過程と民衆大学への役割期待」立教大学社会福祉研究所『立教社会福祉研究』通巻 31 号, 2011, pp.55-67.
- 『『成人教育のスウェーデンモデル』とは何か—ノンフォーマル教育の『輸出』をめぐる論点』立教大学教育学科研究年報』通巻 54 号, 2010, p.19-33.
- (共著)「現代における定時制高校の役割」『鳥取大学生涯教育総合センター研究紀要』通巻 6 号, 2009, pp.1-25.
- 「子どもの性的人権・性的発達の保障に向けた連携の課題」『2007 年度科学研究費補助金 (基盤研究 B 課題番号 17330167) 研究報告 地域の教育福祉諸機関の連携に関する総合的研究』2008, pp.6-16.
- (共著)「高校教育改革下の定時制高校の状況」鳥取大学地域学部『地域学論集』第 4 巻第 3 号, 2008, pp.327-367.
- 「生涯学習の資源としての図書館—鳥取県立図書館の先駆的取り組み」『鳥取大学生涯教育総合センター研究紀要』通巻 4 号, 2008, pp.87-91.
- 『『新しい社会運動』のなかの成人学習—スウェーデン女性運動によるラディカル成人教育の実践』一橋大学〈教育と社会〉研究会, 『〈教育と社会〉研究』通巻 17 号, 2007, pp.46-54.
- 「学習社会論における比較成人教育史研究の可能性」日本科学者会議『日本の科学者』第 42 巻第 6 号, 2007, pp.24-27.

- * 「スウェーデン民衆教育における移民たちの政治的文化実践」『日本学習社会学会年報』 通巻 2 号, 2006, pp.67-75.
- * 「『生涯学習社会』のポリティクス—成人の教育・学習活動と社会変革」『日本学習社会学会年報』 通巻 1 号, 2005, pp.64-72.
- * 「スウェーデンにおける民衆教育の性格変容」『比較教育学研究』 通巻 31 号, 2005, pp.101-117.
- * 「スウェーデン成人教育政策の史的展開—民衆運動との関わりに着目して」『日本教育政策学会年報』 通巻 11 号, 2004, pp.145-160.

“Beyond Silence: Social and Historical Reflections upon Educational Projects for Minority Groups” (co-author) *Hitotsubashi Journal of Social Studies* 35(2), 2003, pp.29-46.

「スウェーデンにおける学習サークルの形成と組織化」一橋大学〈教育と社会〉研究会『〈教育と社会〉研究』 通巻 13 号, 2003, pp.49-57.

(c) 翻訳

『イケアとスウェーデン—福祉国家イメージの文化史』(原著: Sara Kristoffersson, *Design by IKEA: A cultural history*, Bloomsbury, London, 2014 年, 英語), 新評論, 2015.

『政治のなかの保育—スウェーデンの保育制度はこうしてつくられた』(原著: Barbara Martin Korpi, *Förskolan i politiken: om intentioner och beslut bakom den svenska förskolans framväxt*, Sverige. Utbildnings- och kulturdepartementet, Stockholm, 2006 年, スウェーデン語), かもがわ出版, 2010.

『性的虐待を受けた少年たち—ボーイズ・クリニックの治療記録』(原著: Anders Nyman, Börje Svensson, *Boys: Sexual abuse and treatment* (2.ed.), Rädda barnen (Save the Children Sweden), Stockholm, 2002 年, 英語), 新評論, 2008.

(共訳)「社会間関係と準拠社会の構築／近代化プロセスと外在化—比較教育研究の批判的再定義のために」(原著: Juergen Schriewer “Inter-Societal Relations and the Construction of Reference Societies: Externalisation in Processes of Modernisation”, 2002 年, 英語)『〈教育と社会〉研究』 通巻 13 号, 一橋大学〈教育と社会〉研究会, 2003.

(d) その他

(書評)「長谷川紀子『ノルウェーのサーメ学校に見る先住民族の文化伝承—ハットフェルダル・サーメ学校のユニークな教育』(新評論、2019.7)」日本比較教育学会編『比較教育学研究』 第 61 号, 2020.

(書評)「広田照幸・橋本伸也・岩下誠編著『福祉国家と教育—比較教育社会史の新たな展開に向けて』(昭和堂, 2013.11)」『歴史評論』 通巻 776 号, 2014.

(書評) 佐藤一子著『イタリア学習社会の歴史像 —社会連帯にねざす生涯学習の協働』(東京大学出版会, 2010.12)『教育社会学研究』 通巻 89 号, 2011

日本教育社会学会編『教育社会学事典』(執筆項目: 「生涯学習と地域社会」(共著)、「社会運動と成人学習」), 丸善出版, 2018.

社会教育・生涯学習辞典編集委員会編『社会教育・生涯学習辞典』(執筆項目: 「北欧の成人教育・生涯学習」「スウェーデンの成人教育・生涯学習」), 朝倉書店, 2012.

「スウェーデンの学習サークル (3) 学習と政治のゆるやかなつながり」『Voters』 第 23 号, 2015.1.

「スウェーデンの学習サークル (2) 学習サークル・デモクラシー」『Voters』 第 22 号, 2014.10.

「スウェーデンの学習サークル (1) ルーツとしての政治学習」『Voters』 第 21 号, 2014.8.

「スウェーデンの家庭保育所 (保育ママ) の動向」『保育情報』 全国保育団体連絡会, 2013.9.

「スウェーデンにおける学童保育の法制とガイドライン」『学童保育研究』 学童保育指導員専門性研究会、かもがわ出版, 2007.11.

B. 本研究科着任後の研究活動（着任 2013 年）

（a）国内外学会発表

“Comparative Studies on Recognition of Outcome of Various Lifelong Learning: Searching for Effective Policy Linkage Structure（ポスター・共同発表）”, the World Education Research Association (WERA) 2019 Focal Meeting, 2019.8, 学習院大学

「教育権保障と「普通教育」の柔軟化をノンフォーマル教育研究からみる」（共同発表），日本比較教育学会第 52 回大会, 2016.6, 大阪大学.

「スウェーデンにおける『社会美』の思想と『国民の家』」, 唯物論研究協会第 38 回研究大会, 2015.10, 群馬大学.

“What is Identity of Non-formal Education beyond Dichotomy?”（共同発表）, 15th World Congress of Comparative Education Societies, 2013.6, アルゼンチン・ブエノスアイレス大学.

（b）国内研究プロジェクト

科学研究費補助金（基盤研究 C）「スウェーデン女性運動の比較発達社会史的研究」（研究代表者）, 2019.4-2023.3

科学研究費補助金（若手研究 B）「19-20 世紀転換期スウェーデンにおける生活文化をめぐる諸運動と『国民教育』」（研究代表者）, 2014.4-2017.3.

科学研究費補助金（基盤研究 B）「学習者のウェルビーイングに資するノンフォーマル教育の国際比較研究」（研究分担者）, 2013.4-2016.3.

科学研究費補助金（基盤研究 A）「コミュニティ・ガバナンスと社会教育福祉システム構築に関する欧米とアジアの比較研究」（研究分担者）2011.4-2015.3.

科学研究費補助金（若手研究 B）「スウェーデンモデルにおける成人教育システムの成立過程」（研究代表者）, 2010.4-2014.3.

（c）国際研究プロジェクト

科学研究費補助金（国際共同研究強化 A）「スウェーデンにおける初期女性職業教育とジェンダー秩序の変容—手工芸領域を中心に」（研究代表者）, 2020.4-2023.3.

6. 学内行政

（B）学内委員会

入学試験実施専門委員会 2018-2019

障害学生支援委員会 2017

学士課程教育専門委員会 2016-2017

オープンキャンパス実施専門委員会 2016

教職課程専門委員会 2014-2017

7. 学外活動

（a）他大学非常勤講師など

新潟県立大学国際地域学部非常勤講師 2020-2021

中国・吉林大学哲学社会学院特別講師 2018-2019

(b) 所属学会および学術活動

日本教育学会
日本比較教育学会
日本教育政策学会
日本教育社会学会
唯物論研究協会

(e) その他（公的機関・各種団体・民間企業等における講演等）

東京国立近代美術館工芸館「インゲヤード・ローマン展 トークセッション（深澤直人×太田美幸）」2018年12月1日.

美術手帖×VOLVO ART PROJECT「トークイベント スウェーデンの現代を構築するもの（田附勝×太田美幸）」2017年11月11日.

8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

国立市男女平等推進委員 2018-2020

国立市社会教育委員 2013-2017

埼玉県生涯学習審議会委員 2011-2015

文部科学省教育映像教材委員 2010-2020